

(様式1)

学校番号 (小・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (浅間小学校) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・子供たちの主体的な活動を充実していけるような話し合いをする。
- ・子供たちが夢や希望をもつことができよう活動設定について、学校のニーズに対応する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校の現状や課題や学校運営基本方針について校長から丁寧な説明があり、多様な経験と価値観をもった委員が様々な視点で熟議することができた。
- ・主体性、自己肯定感、相互理解のキーワードをどのように日々の教育活動や学校運営に反映させ、よりよい学校を作っていくかについて、活発に熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・地域や保護者、教員それぞれの視点を踏まえ、多角的に熟議をすることができた。それにより、貴重な提案や気付きなどが得られた。
- ・学校教育目標と支援活動のつながりを意識した熟議ができた。また、全職員が参加したことで、地域、保護者、学校が共通認識をもつことができ、今までにない成果があった。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・コミスクだよりが昨年度2回から今年度は3回に増えた。コミスクに馴染みのない地域住民にも分かりやすいようコミスクとは何か、どのような効果があるか説明した。
- ・ブログやホームページ、さくら連絡網や回覧板を通じて発信を行い、誰でもわかりやすい内容で情報発信ができた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・主体性を育む活動はとても良かったので、来年度も継続して充実していけるような話し合いにしたい。夢をもち、粘り強く自分を高める子についても考えていきたい。
- ・学校と地域が連携し互いに信頼関係を築き、子供たちの学校生活がより豊かになるよう、学校のニーズについて熟議したい。